

和光市まちづくり住民意向調査結果

アンケート調査の概要

■ アンケート調査の実施概要

| | |
|---------|---|
| 調査目的 | 本アンケート調査は、地域の現状や今後のまちづくりについて市民意向・要望を把握し、「和光市都市計画マスタープラン」の中間的な見直しに役立てるために実施したものです。 |
| 配布・回収方法 | 郵送による配布・回収 |
| 実施期間 | 発送：平成 25 年 6 月 10 日（月）～投函締め切り：6 月 24 日（月） |
| 配布対象 | 20 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 2,000 人の方を対象に実施しました。 |
| 回収状況 | 806 人（回収率 40.3%） 7 月 5 日（金）現在 |

■ アンケート調査の実施項目

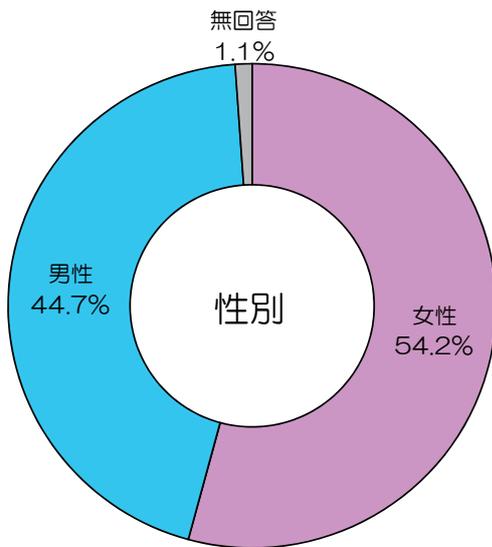
| | |
|------|--|
| 同封資料 | ・アンケート調査の目的とご協力をお願い（記載に際しての留意事項） |
| 調査項目 | I. 回答者属性 II. 和光市全体の魅力や課題について III. 生活環境について IV. 定住意識について V. まちづくりについて VI. 文化・教育・スポーツについて VII. 和光市のまちづくりに関するアイデア・要望等 |

■ まず、あなたご自身のことについておうかがいします。

(質問1) あなたのことについて、それぞれ1つ選び、○をつけてください。

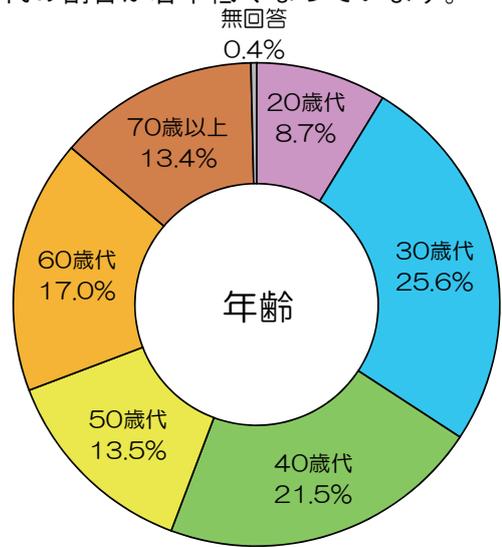
○性別

⇒女性が若干多い傾向にあります。ほぼ同程度の割合です。



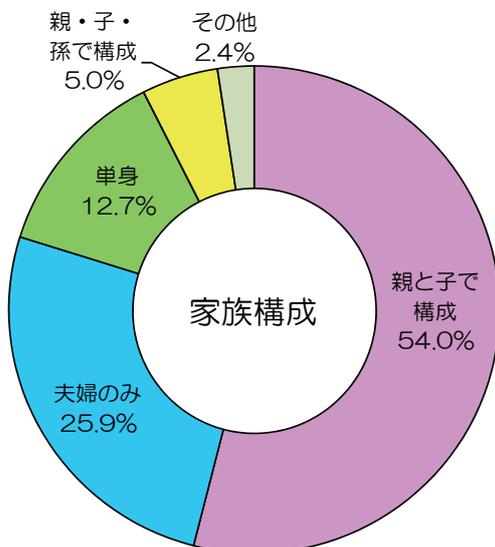
○年齢

⇒30代～40代、60代がそれぞれ約2割で、その他の年代は1割程度です。20代の割合が若干低くなっています。



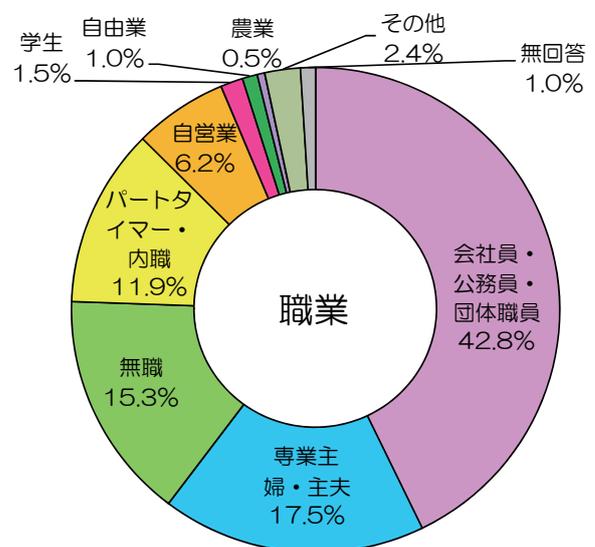
○家族構成

⇒約半数の回答者が「親と子で構成」されています。次いで夫婦のみが3割弱で、単身は約1割です。「親・子・孫」の3世代は1割未満です。



○職業

⇒「会社員・公務員・団体職員」が約4割です。次いで「専業主婦（主夫）」・「無職」が約2割となっています。

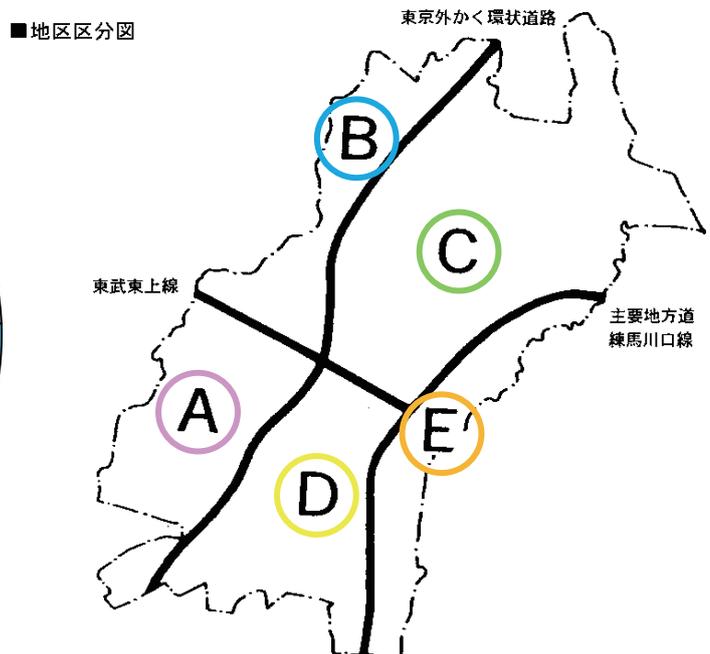
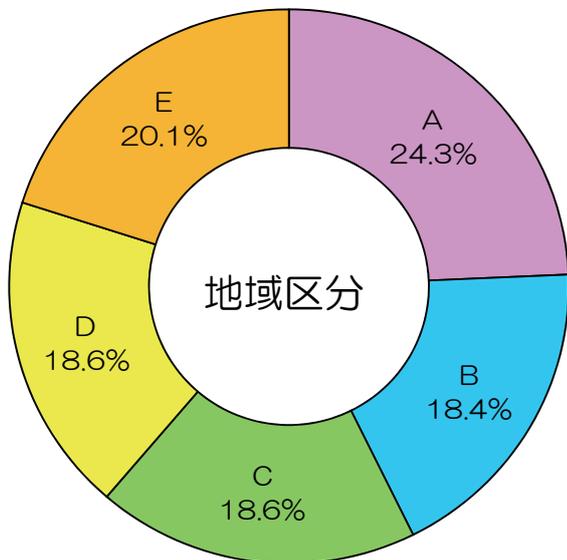
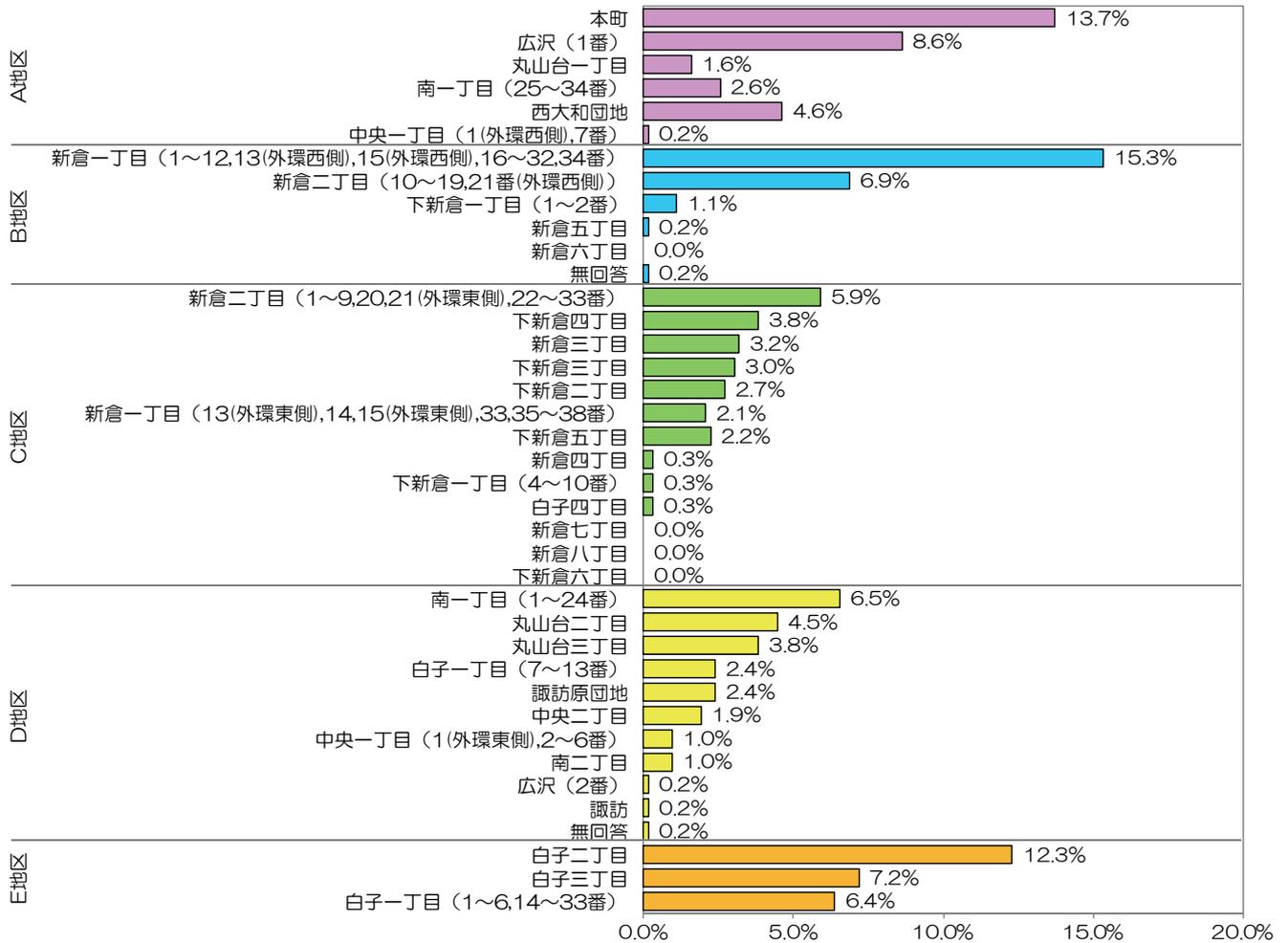


○住んでいる地域

⇒新倉一丁目、白子二丁目、本町の回答が多くなっています。

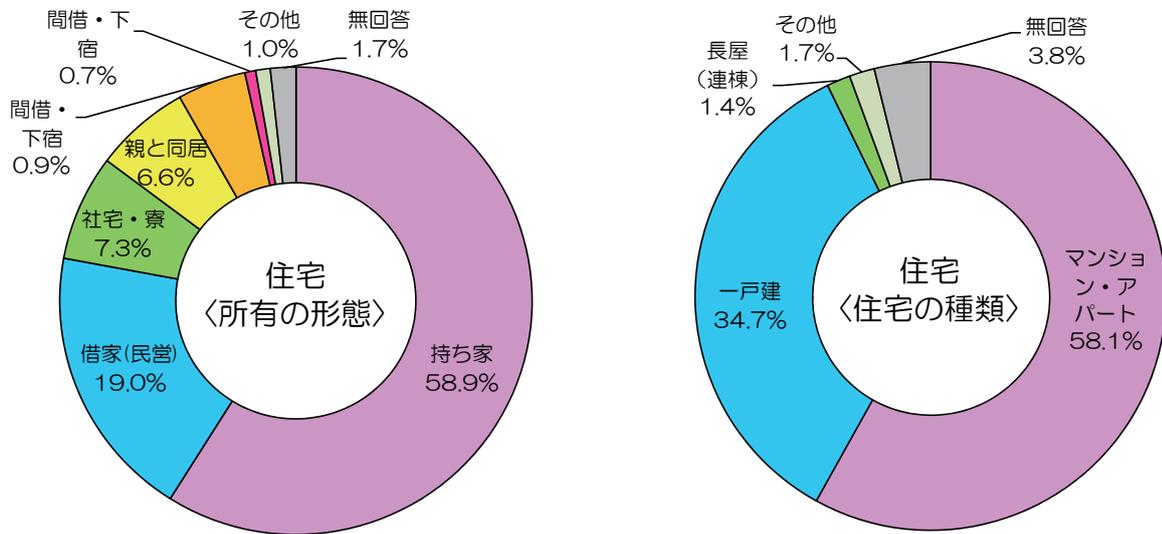
現都市計画マスタープラン地区別構想の地区に区分すると、A～Eの5地区でそれぞれ同程度の回答数です。

住んでいる地域 N=584



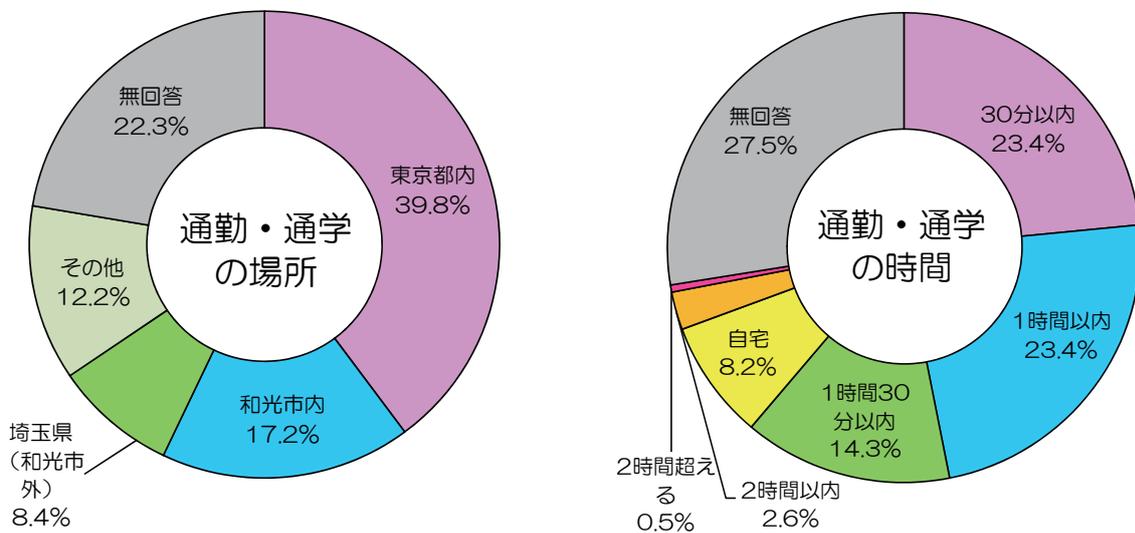
○住宅<所有の形態・住宅の種類>

⇒所有の形態は、約6割の方が持ち家です。住宅の種類については、マンション・アパートが約6割を占めており、次いで一戸建て（約4割）となっています。

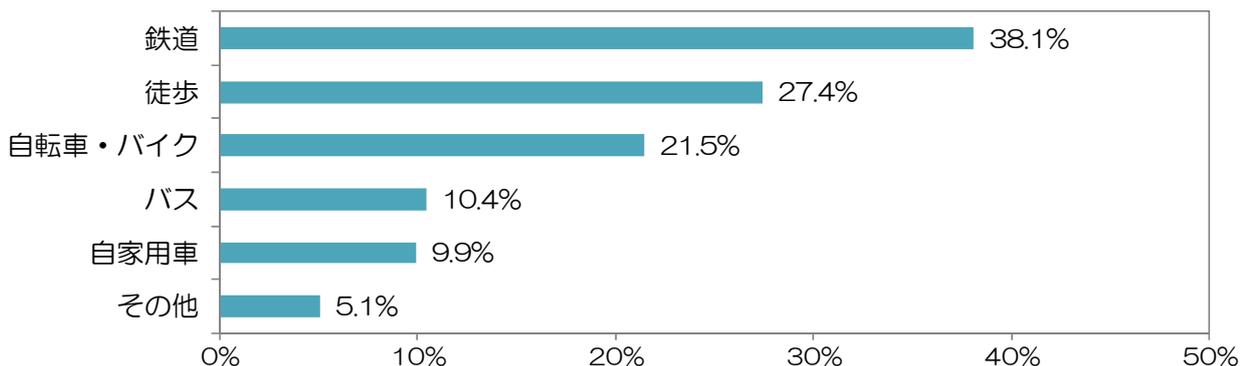


○通勤・通学の場所、通勤・通学の時間、通勤・通学手段

⇒約4割が東京都内に通勤・通学しています。また、4割以上が1時間以内で通うことができると回答していることから、本市の通勤・通学に対する利便性の高さがうかがえます。通勤手段は鉄道利用が多くなっています。



通勤・通学的手段

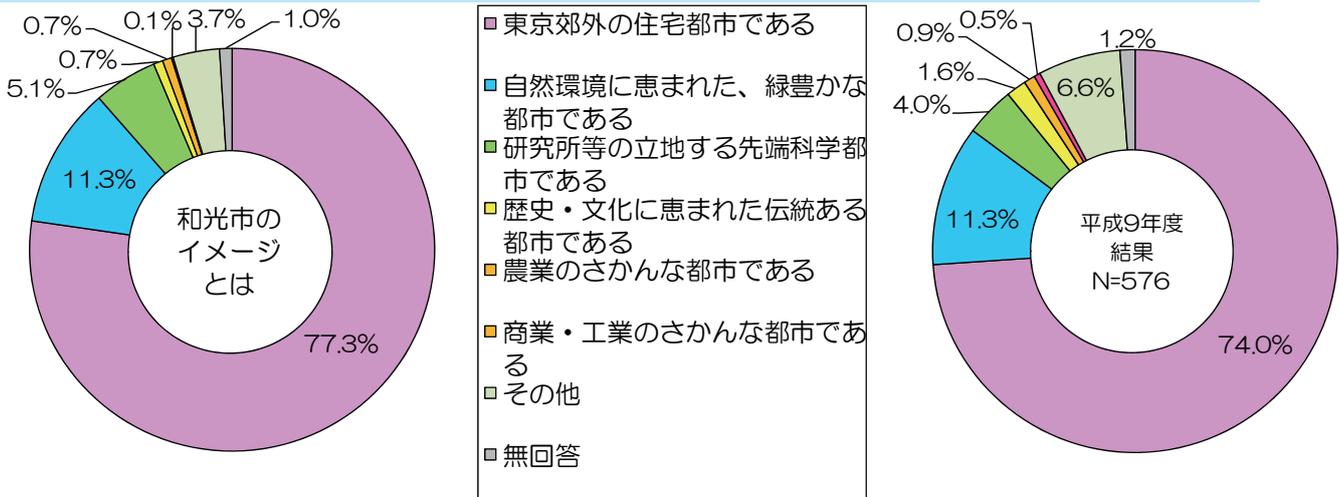


■ 和光市全体の魅力や課題についておうかがいします。

(質問2) あなたは、和光市についてどんなイメージを持っていますか。(1つ以内で選択)

- 前回結果と同様に「東京郊外の住宅都市」のイメージが高くなっています。次いで「自然環境に恵まれた、緑豊かな都市」が高いです。
- 前回に比べて「先端科学都市」のイメージが向上し、「農業」のイメージは低下しています。

 ⇒市民にとって和光市は「東京に近いまち・緑豊かなまち」というイメージです。

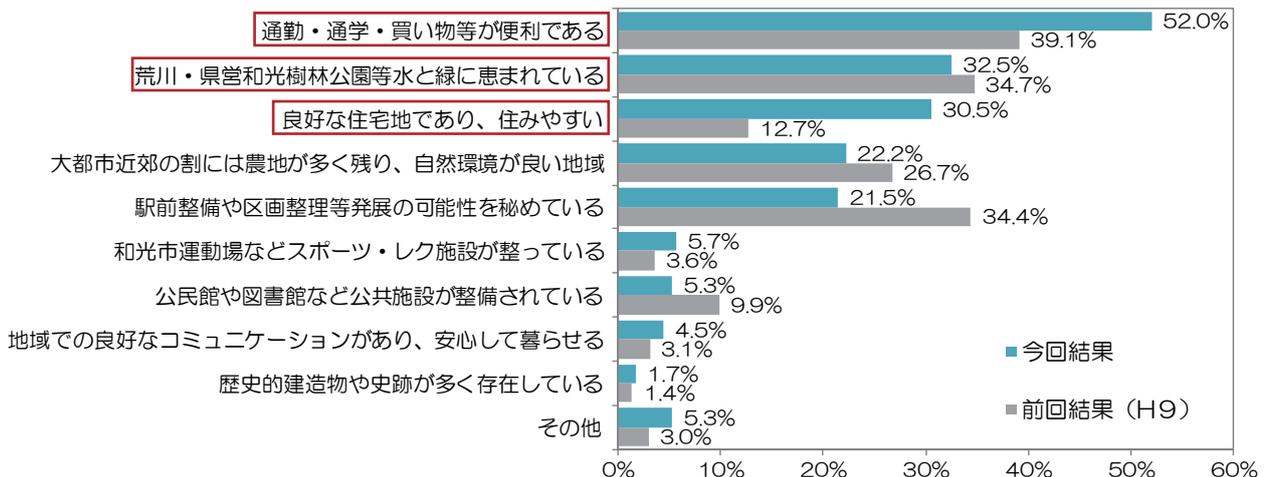


(質問3) あなたは、和光市のどんなところに魅力を感じますか。(2つ以内で選択)

- 約半数が「通勤・通学・買い物等が便利」と回答しており、その割合は前回に比べて大幅に増加しています。次いで「水と緑に恵まれている」が高いです。
- 「良好な住宅地であり住みやすい」が前回に比べて大幅に増加しています。一方、「駅前整備や区画整理等発展の可能性を秘めている」の割合が低くなっています。

 ⇒市の魅力は、東京に近く通勤通学に便利でありながら自然環境に恵まれている所です。
⇒「住みやすい良好な住宅地」であることを魅力とを感じる方が増加しています。

和光市の魅力とは



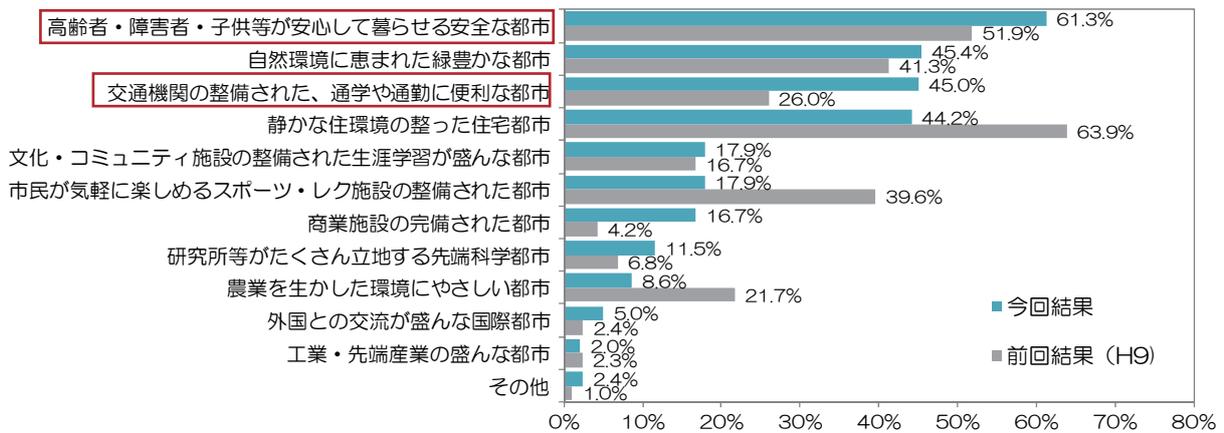
(質問4) あなたは、将来の和光市をどんな都市にすべきだと思いますか。(3つ以内で選択)

- 「高齢者・障害者・子ども等が安心して暮らせる安全な都市」が最も多くなっています。前回結果に比べてもこの割合は高くなっています。また、「交通機関の整備された、通学や通勤に便利な都市」も大幅に増加しています。
- 一方で、「静かな住環境の整った住宅都市」、「スポーツ・レク施設の整備された都市」が、前回(約6割)に比べて低くなっています。



⇒誰もが安心して暮らせる、誰もが暮らしやすいまちづくりが求められています。

将来の和光市とは



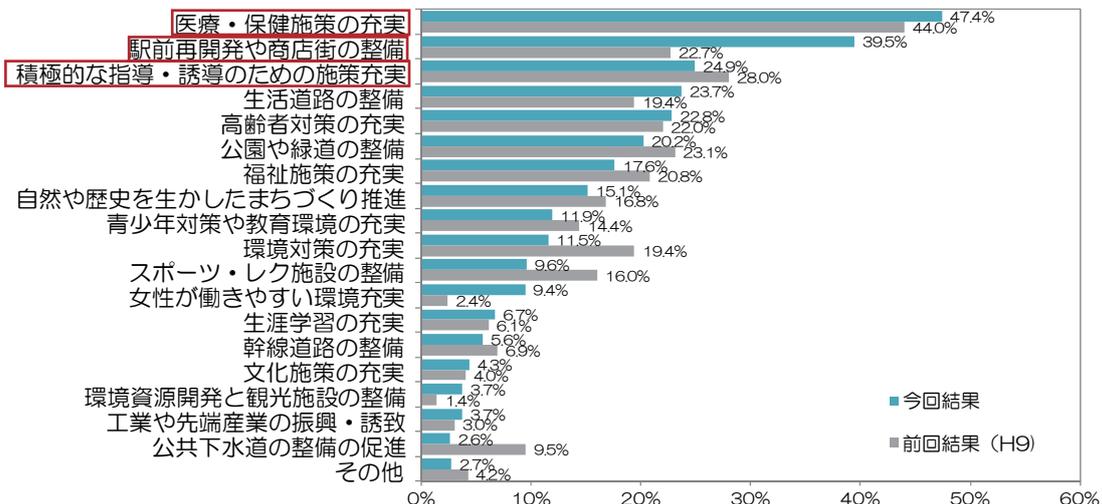
(質問5) あなたのイメージする和光市を実現するためには、今後市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内で選択)

- 前回と同様に「医療・保健施策の充実」が求められています。
- 「駅前再開発や商店街の整備」を求める意見が前回よりも多くなっています。次いで、「積極的な指導・誘導のための施策充実」が高くなっています。



⇒医療分野や駅前の拠点性向上など、将来的に想定される高齢化に向けた暮らしやすさの向上が求められています。

イメージする市の実現のため、力を入れるべき分野



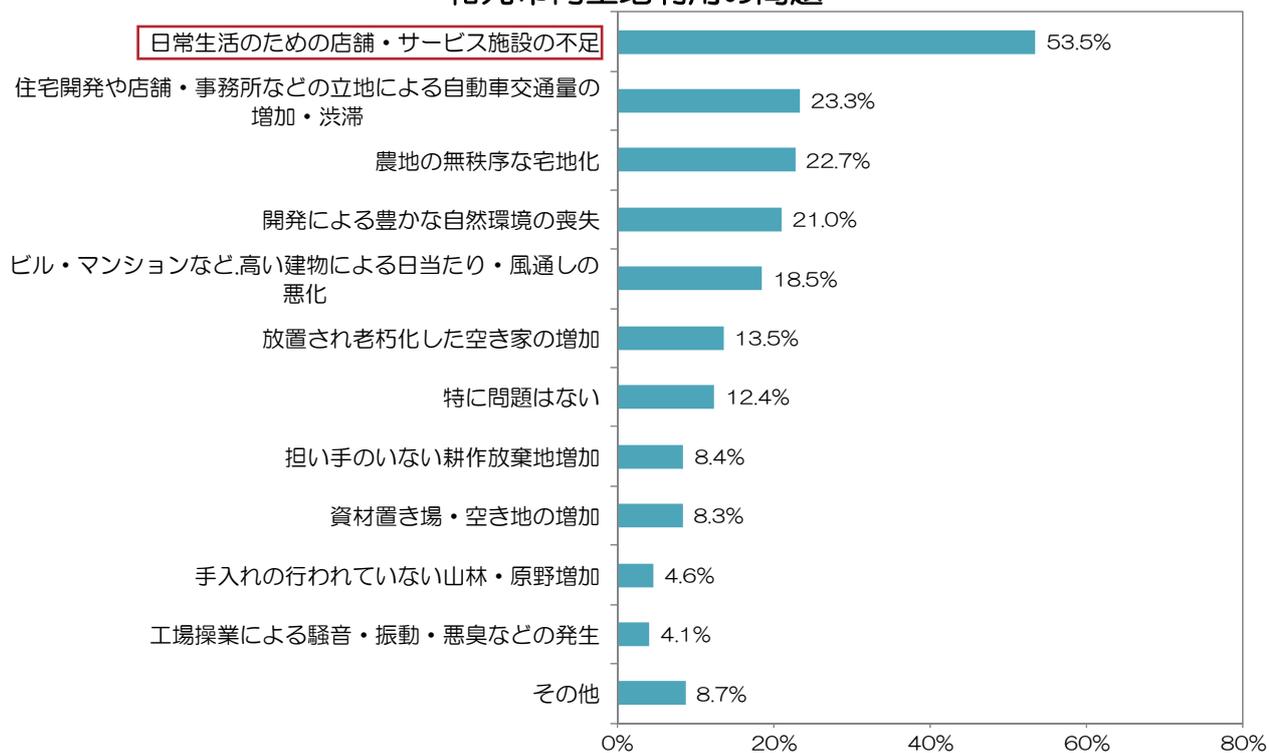
(質問6) あなたは、和光市内の土地利用について、どのような問題があると思いますか。
(3つ以内で選択)

○半数の方が「日常生活のための店舗・サービス施設の不足」が問題と回答しています。



⇒魅力ある商業環境の形成が求められています。

和光市内土地利用の問題

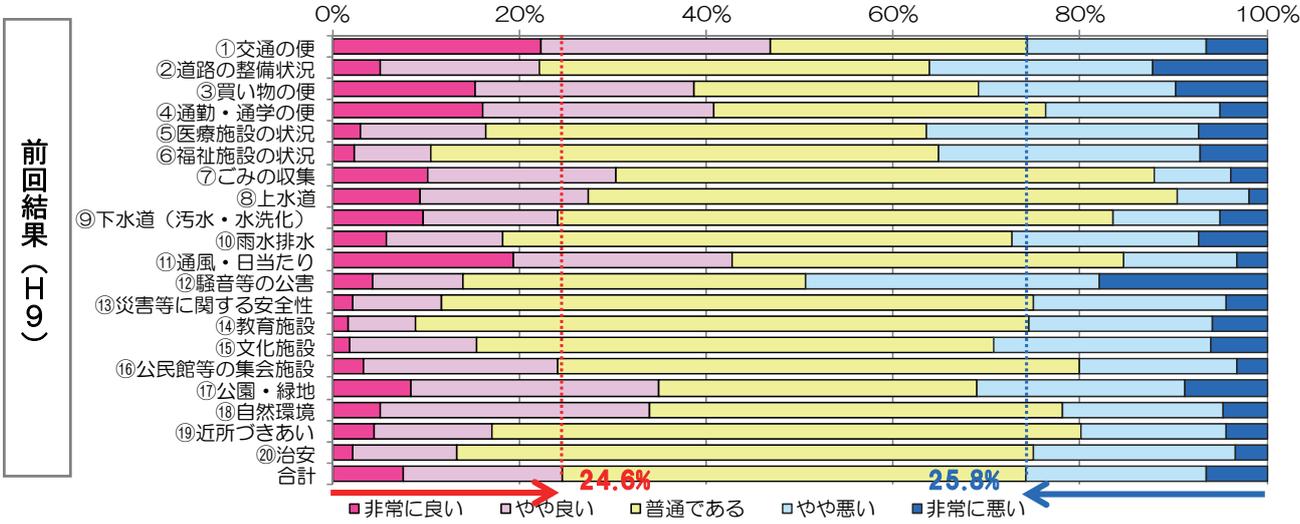
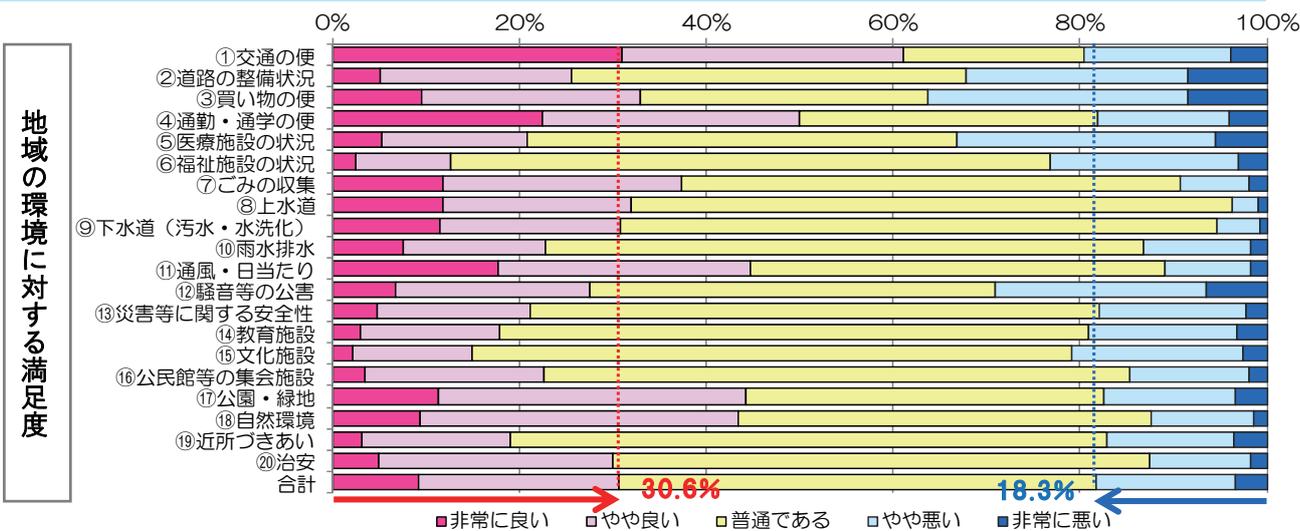


■ 生活環境についておうかがいします。

(質問7) あなたが住んでいる地域の環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について、あなたのお考えに一番近いものを1つ選び、番号(1~5)に○をしてください。

- 前回結果に比べて、全体的に満足度(非常に良い・やや良い)が増え、不満(非常に悪い・やや悪い)と感じる方が減っています。
- 約6割の方が「①交通の便」に対する満足度が高くなっています。また、「④通勤・通学の便」、「⑪風通・日当たり」、「⑰公園・緑地」、「⑱自然環境」に対する満足度が高いです。
- 一方、他の項目に比べて「②道路の整備状況」、「③買い物の便」、「⑤医療施設」、「⑫騒音等の公害」に対する満足度が低くなっています。
- 「⑫騒音等の公害」は、前回最も不満が多い項目でしたが、今回の結果では、不満と感じる方は減り、満足と感じる方が増えてきています。

⇒「交通利便性の高さ」と「自然環境の良さ」が和光市の魅力と感じています。
 ⇒買物・医療・道路環境整備が和光市の課題です。騒音等の公害は改善傾向であるものの更なる対策が求められます。



赤の点線 : 満足度(非常に良い・やや良いの合計)の平均値
 青の点線 : 不満度(非常に悪い・やや悪いの合計)の平均値

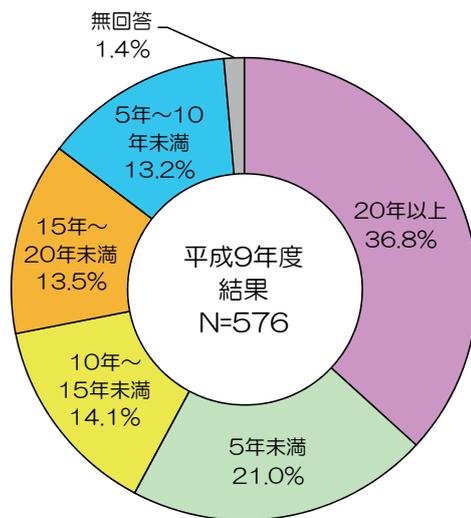
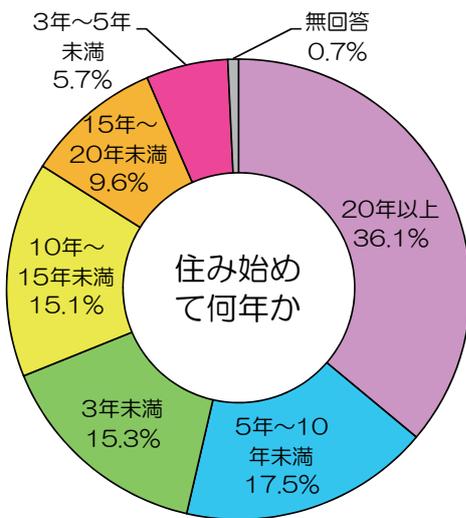
■ 定住意識についておうかがいします。

(質問8) あなたは、和光市にお住まいになってから何年になりますか。(1つ以内で選択)

- 約4割の方が20年以上居住しています。一方、回答者の約2割が5年未満の居住です。
- 20年以上お住まいの方が、前回と比較して増加していません。



⇒地元住民と新規居住者の交流促進や新たな地域コミュニティの形成が重要です。

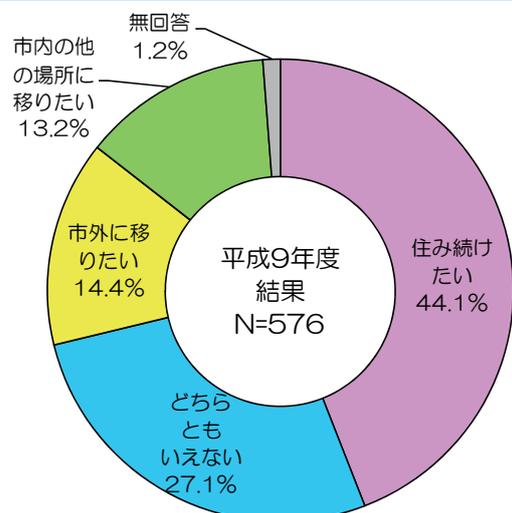
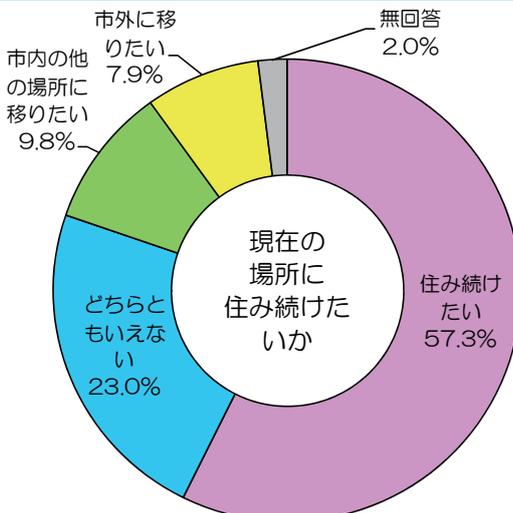


(質問9) あなたは、現在の場所に住み続けたいと思いますか。(1つ以内で選択)

- 約6割が「住み続けたい」と回答しており、その割合は前回結果に比べて増加しています。
- 一方で、約2割が「どちらともいえない」、約1割が「市外に移りたい」と回答しています。



⇒住民意向を適切に把握・分析し、市民が「住み続けたい」と感じるまちづくりを進めていくことが求められます。



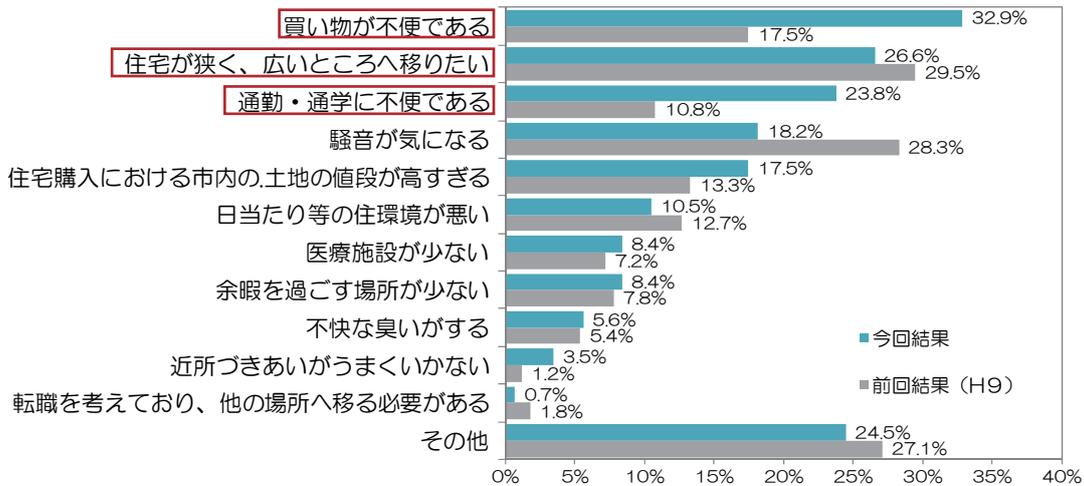
(質問10) 前問(質問9)で、2. または3. と回答された方のみお答えください。現在の場所から「移りたい」と思われる主な理由は何ですか。(2つ以内で選択)

- 約3割が「買い物が不便である」と回答しており、その割合は前回に比べて大幅に増加しています。次いで「住宅が狭く、広いところへ移りたい」が高いです。
- 「通勤・通学に不便である」という意見が前回より1割ほど多くなっています。



⇒買い物が不便であること、広い住宅が市内にないこと等に対応したまちづくりが求められています。

移りたい主な理由は



■ まちづくりについておうかがいします。

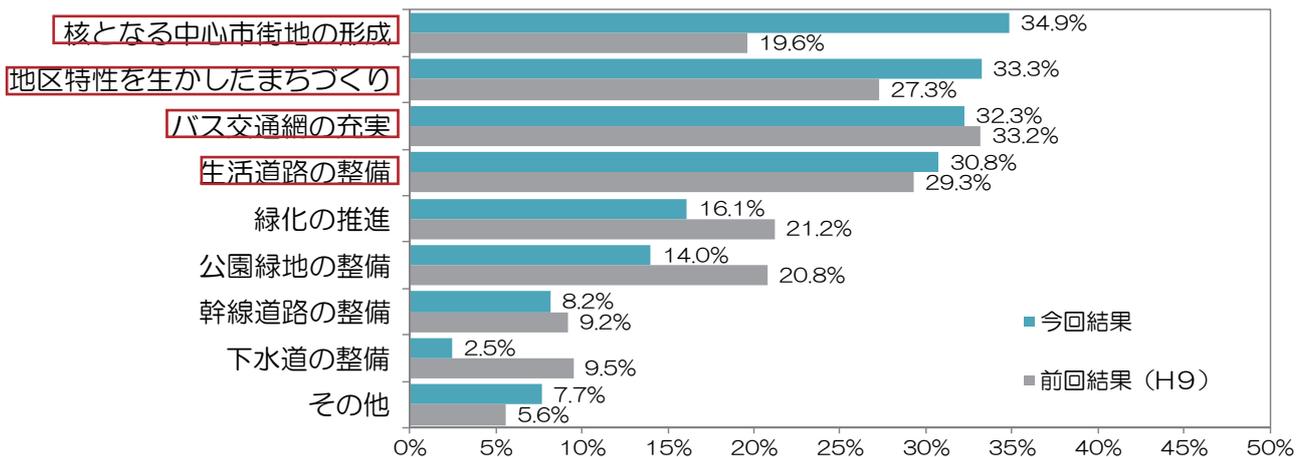
(質問11) 和光市のまちづくりについて、重要だと思うものは何ですか。(2つ以内で選択)

- 「核となる中心市街地の形成」、「地区特性を生かしたまちづくり」、「バス交通網の充実」、「生活道路の整備」がそれぞれ同程度となっています。



⇒多様化する市民ニーズに対応したまちづくりを進めるため、市民と行政のパートナーシップによる推進が重要です。

まちづくりで重要なもの



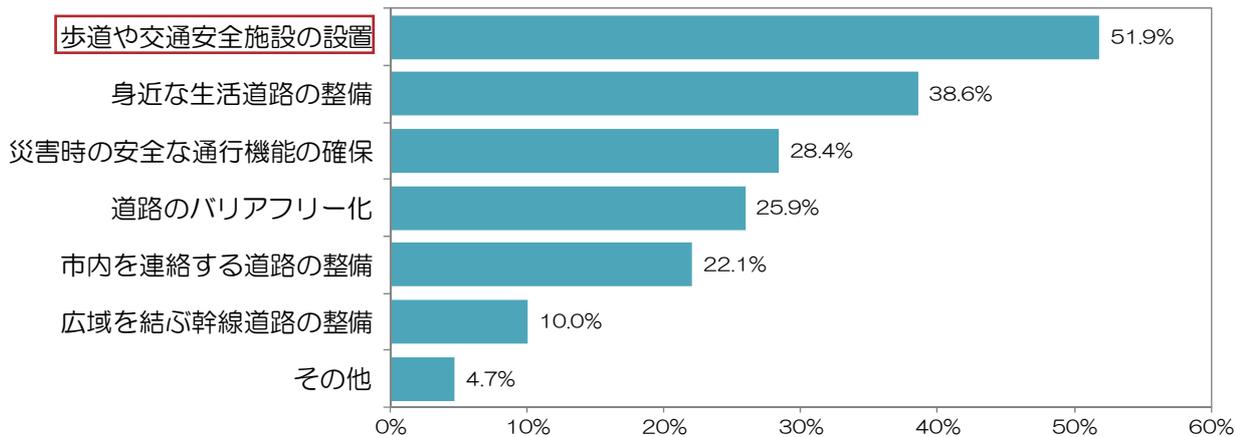
(質問 1 2) 和光市内の道路について、何に力をいれて取り組むべきと思いますか。(2つ以内で選択)

○約半数が「歩道や交通安全施設の設置」と回答しています。次いで、「身近な生活道路の整備」が多くなっています。



⇒狭隘道路の解消や安全な歩行者空間の確保など、誰もが安心して歩いて暮らせる都市空間の形成が求められています。

道路について強化すべき点



(質問 1 3) 和光市の緑のまちづくり(緑地・公園)について、あなたが重要と思うことは何ですか。(2つ以内で選択)

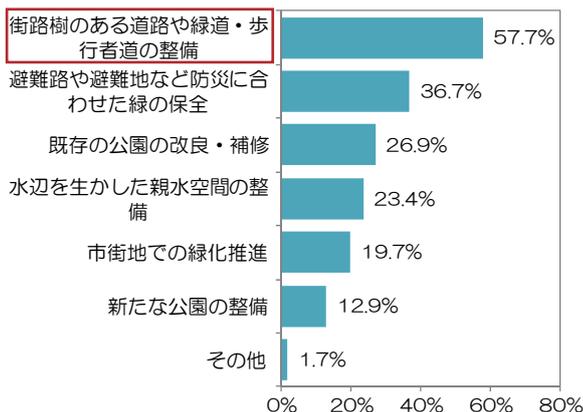
○約半数が「街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備」を重要と感じています。次いで「避難路や避難地など防災に合わせた緑の保全」が多くなっています。



⇒問 1 2 で歩道等を求める意見が多かったこととあわせて、歩行者に優しい緑豊かな道路整備が求められていることがうかがえます。

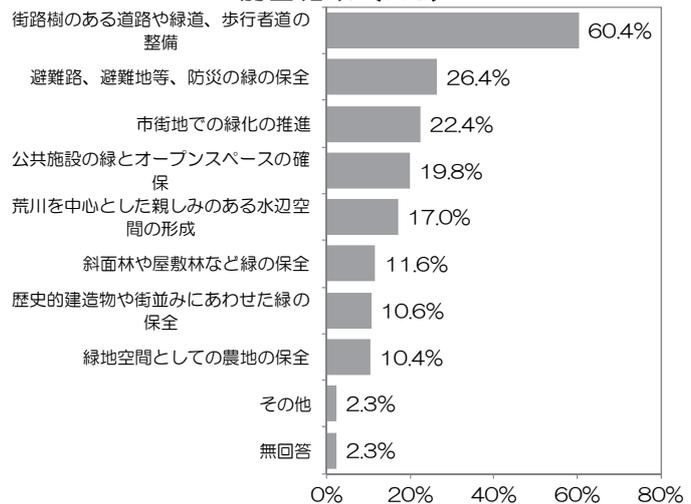
また、震災以降、全国的に安全・安心に対する意識が高まっており、防災と合わせた緑のまちづくりが求められます。

緑のまちづくりで重要なもの



※今回のアンケートでは選択肢の一部を変更しています。

前回結果(H9)



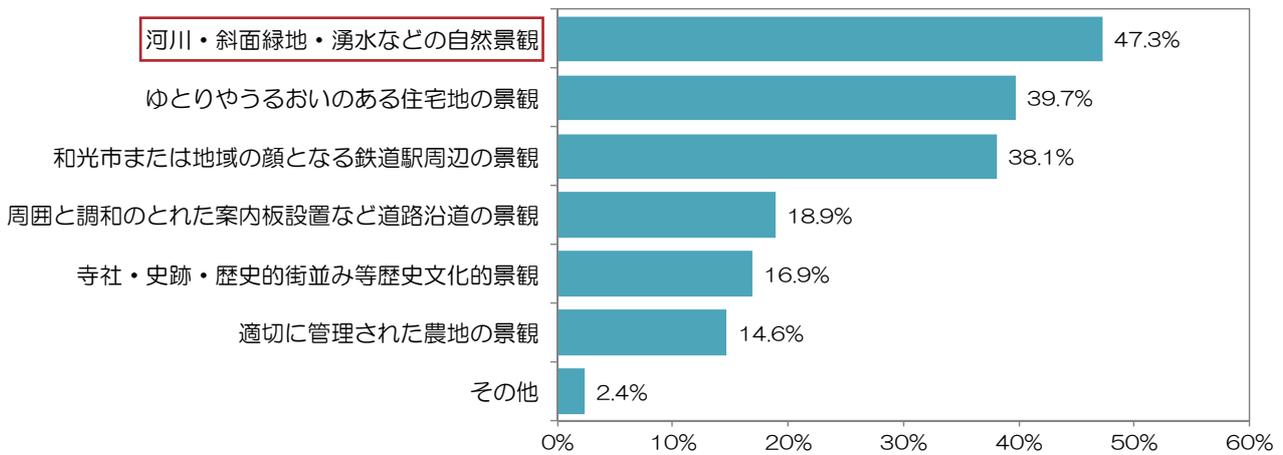
(質問14) あなたは、地域にふさわしい景観（風景・景色）を形成するために、何が重要と思いますか。（2つ以内で選択）

- 半数近い方が「河川・斜面緑地・湧水などの自然景観」と回答しています。
- 次いで「住宅地の景観」や「市内、鉄道駅周辺の景観」が重要と感じる方も多くみられます。



⇒市内には斜面緑地や湧水など貴重な自然景観が点在しており、都市景観との調和が求められています。

地域の景観形成に重要なもの



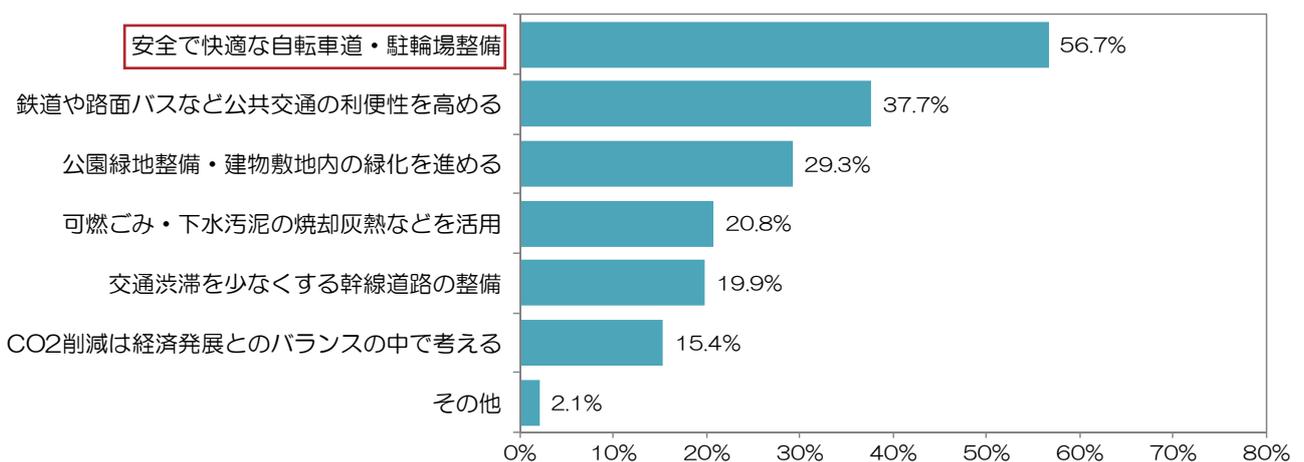
(質問15) 和光市でCO2の削減などの環境負荷に配慮したまちづくりを進める上で、何が重要と思いますか。（2つ以内で選択）

- 約6割が「安全で快適な自転車道・駐輪場整備」と回答しています。
- 次いで、公共交通の利便性向上を望む回答がみられます。



⇒環境に配慮したまちづくりへの意識が高まっています。
自動車に依存しなくても生活できる環境づくりが求められます。

環境負荷配慮に重要なもの



(質問16) 和光市において災害につよいまちづくりを進める上で、何が重要と思いますか。
(2つ以内で選択)

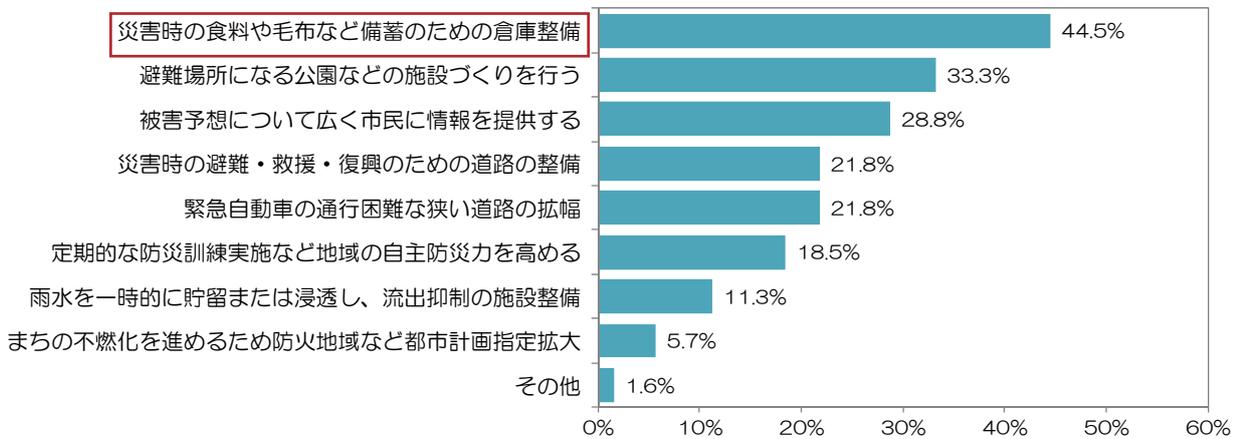
- 約半数が「災害時の備蓄倉庫整備」と回答しています。
- 次いで「避難場所となる公園など施設づくり」、「被害予想についての情報提供」が求められています。



⇒災害に強いまちづくりへの意識が高まっています。

備蓄倉庫整備、避難場所などハード面の整備に対する期待が多くなっています。

災害に強くなるため重要なもの



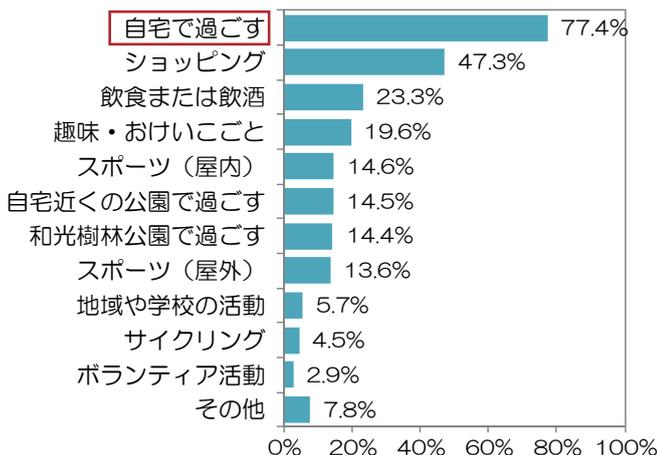
(質問17) あなたは現在、和光市内で自由時間（余暇時間）をどのように過ごしていますか。
(3つ以内で選択)

- 約8割の方が「自宅で過ごす」と回答しており、次いで「ショッピング」が多くなっています。それぞれ前回（「休養」を「自宅で過ごす」と置き換えます。）に比べて大幅に増加しています。

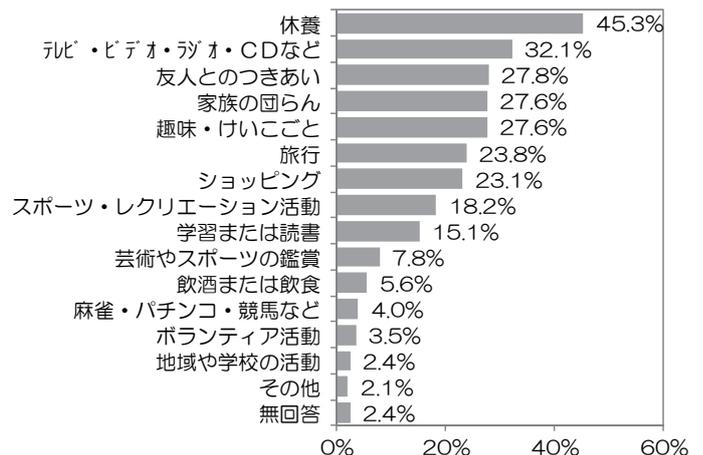


⇒多くの方が余暇を自宅で過ごしています。年齢別クロス集計などの詳細分析を行いながら、市民の外出支援・社会参加につながる方向性を検討する必要があります。

市内での自由時間の過ごし方



前回結果（H9）



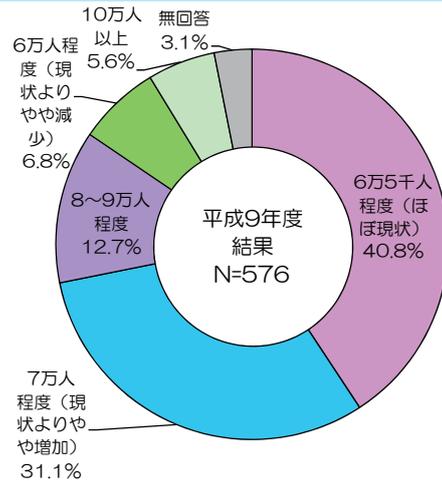
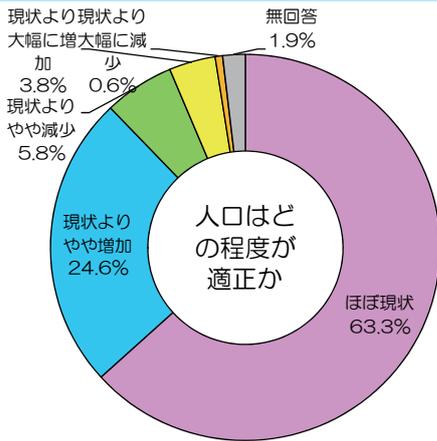
※今回のアンケートでは選択肢の一部を変更しています。

(質問18) あなたは、和光市の人口はどの程度が適正であると思いますか。(1つ以内で選択)

- 半数以上の方が現状の人口が適正と感じています。
- 次いで約2割が「現状よりやや増加」すべきと感じています。



⇒全国的に人口が減少傾向である中、本市では人口が増加傾向です。将来の人口の推移を見据えながら、住みやすい環境や施設の整備を検討する必要があります。



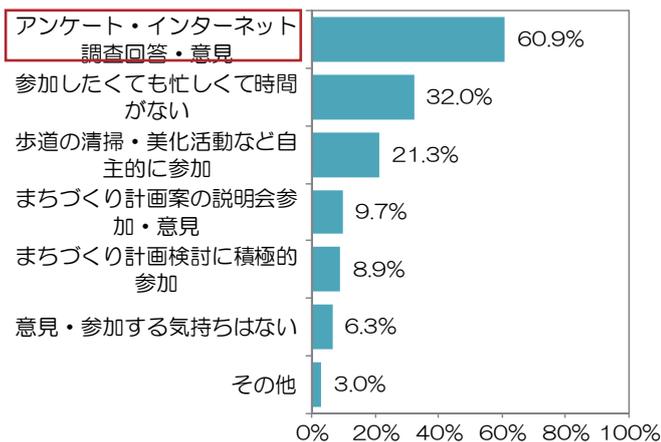
(質問19) 和光市のまちづくりは、様々な形で市民の皆様に参加やご意見を受けて進めていますが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。(2つ以内で選択)

- まちづくりへの市民参加について、「アンケート・インターネット調査」により参加したい方が約6割となっています。
- 「意見・参加する気持ちはない」は1割未満であり、前回(ほとんど参加しない)から大幅に減少しています。何らかの方法でまちづくりへの参加を考える方が多いことがうかがえます。

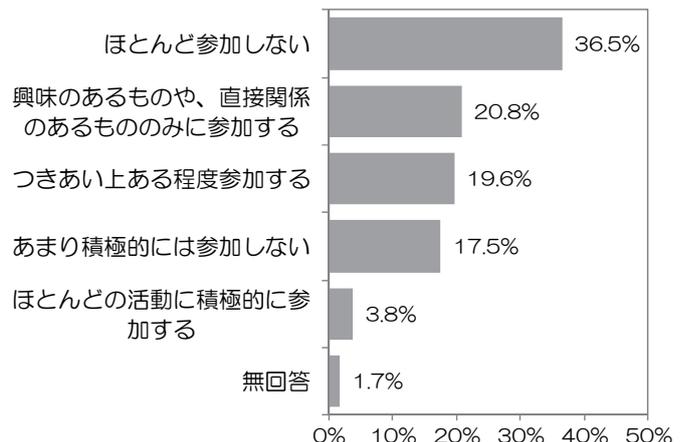


⇒まちづくりに対する市民意識の高まりがみられます。さらに意識を高め、市民主体の活動が活発に展開されるよう、情報提供や活動機会の創出が求められます。

参加したいまちづくりの形式



前回結果(H9)



■ 文化・教育・スポーツについておうかがいします。

(1つ回答)

(質問20) 文化・教育・スポーツの施策として、何が必要だと思いますか。(2つ以内で選択)

- 前回結果と同様に約4割の方が「身近なスポーツ広場の整備」を求めています。
- 次いで「コミュニティセンター」、「図書館分館」を必要と考える方が多くみられます。



⇒前回から引き続き身近なスポーツ広場の整備を求める意見が多くみられます。
⇒施設配置状況や人口動向等を踏まえ、適切な施設の整備・配置の検討が必要です。

施策として必要なもの

